

高校段階での辞書指導の重要性と実践例

——『プラクティカル ジーニアス英和辞典』を使って

飛田牧弘

採点をしていて大いに気になるのが基礎的な単語のミスペルである。私が勤めている学校の生徒を見ていると、単語を手で書いて覚える学習習慣が身についていない生徒や、辞書を引くという地道な作業を厭う生徒が見受けられる。中学校では、週3時間の制約の中で、辞書指導は困難であろうし、教科書に単語リストが掲載されているので、辞書がなくてもさほど困らない。つまり辞書使用では初心者状態で高校に入学してくるのである。卒業後には、進学して英語学習を継続する者もいれば、高校が最終学歴になる者もいる。したがって、高校の段階で基礎的な文法力と、辞書を引けば英文が理解できる学力を育てることが、高校英語教育の使命といえる。そこで、同僚の先生方と相談して、辞書指導、しかも情報の一覧性・記憶の定着性・学習の能動性、そして価格の面でも優れた紙の辞書指導に挑戦することとなった。

1. オリエンテーション合宿

私が担任をする学年から、箱根のホテルに宿泊して、新入生オリエンテーションを実施することになった。その中に辞書指導を組み入れることにし、また、入学直後の生徒の緊張をやわらげるためにも、ゲーム的活動を含めることとした。

そこで、新入生全員に英和辞書を合宿に持参させ、『プラクティカル ジーニアス英和辞典 (PG) 活用ワークブック』を利用して、①辞書における単語の配列、②多義語・多品詞語・同綴語の検索の方法を解説し、以下の辞書引きゲームを行った。

①単語配列のゲーム

「30組の英単語があります。各組の4つの単語の

中で、3番目に辞書に出ている単語に○をつけないさい。制限時間は5分です。」

例 1. unicycle 2. union 3. uniform
4. unicorn

制限時間が経過した後に、答え合わせと各自の正解数を確認し、さらに下線部分の接頭辞の意味を、PGの「語要素一覧」で調べ、接頭辞・接尾辞が単語学習に役立つことを話した。

②多義語・多品詞語・同綴語のゲーム

「20組の英文があります。各組の2つの英文の下線部の意味を調べなさい。制限時間は10分です。」

例 This library has a lot of books. (名詞)

Did you book a hotel room? (動詞)

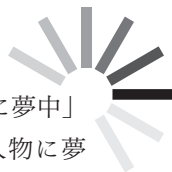
生徒の中には品詞の概念が乏しい者も少なくないので、ゲームとしてのスピード感を保つべく、ヒントになるように品詞を提示した。

2. アンダーライン

辞書を引く習慣を定着させるべく、授業の中で一度は辞書を使う機会を設けている。そして、授業で調べた部分は下線を引かせて、辞書を使った痕跡が残るようにしている。下線が引いてあれば、たとえ調べた内容を忘れてしまっても、後日、再確認が容易だし、下線が引かれている部分が増えていけば、生徒にとって励みと自信にもなるはずだ。また、教師用の辞書にも下線を引いておけば、同じ説明の繰り返しを避けられる。

3. 重要語の表示

日々の英語学習の中で、教科書をはじめ、副読本や英字新聞、大学入試の過去問に至るまで、高校生は数多くの未知語に遭遇する。文脈から意味



を推測できることもあるが、語彙が不足している段階では、頻繁に辞書を引かざるをえない。しかし、辞書を引いた全ての単語を覚えるのは効率がよくないので、現時点で覚えるべき単語と後回しでよい単語を分別する必要がある。PG では、単語の重要度を4ランクに分けてあるので、とりあえずセンター試験を目指して、赤色の見出しになっているAランクとBランクの単語(併せて約4200語)は覚えるように話している。難関大学の場合は、5000~6000語程度必要とされているので、学習が進んだ段階で、市販の「受験単語集」で落穂拾いすればいいと考えている。

4. 語義グループ

せっかく辞書を引いても、最初の語義を無理やりあてはめる生徒が少なくないが、教科書に多義語が登場したら、辞書指導のチャンスである。(以後引用の下線は筆者による。)

Patch was a very bright student.

(*Voyager I* [2006], 第一学習社, p. 63)

PG では、多義語の語義はグループ分けされており、語義の全体像を把握しやすい。“bright”には5つの語義グループがあるが、主語が人間なので「頭脳のよさ」「人の性格の明るさ」に絞られる。Patch Adams は、医科大学に入学するとともに、笑いをういた医療を試みたので、両者の語義とも該当する可能性があるので授業で議論になったものだ。

5. 本義・図解

映画『タイタニック』の主題歌を歌ったCeline Dion を扱った教材に次の一文があった。

Why do people get so excited over Celine?

(同書, p. 95)

“excited”とともに連語を形成する前置詞の中で、多くの生徒にとって“over”はなじみがうすいようであった。そこで、PGで“over”の本義である「あるものが他のものの上を弧を描くように移動する」を確認させ(“over”に図解がほしかった)、さらに類義語である“above”の図解を

参照させた。そして、「ある人物の全体に夢中」という意味で“over”を、「ある一人の人物に夢中」という場合は「点」をあらわす“at”が用いられると説明した。

6. 文型表示

ある単語を正しく使用するには、意味だけでなく、文中での使われ方を理解する必要がある。
women with pets considered themselves more attractive than those without.

(同II [2007], p. 26)

PGで“consider”の文型表示[consider A (to be) C]を確認させ、下のように板書して、AとCが「主語―述語」の関係にあることを理解させた。
consider {[themselves] (more attractive)}

A (主) C (述)

PGでは学習者を配慮してか、第4文型をSVAB、第5文型をSVACと表示している。指導の現状からすると、学習者の混乱を避けるためにも、目的語はOと表示したほうがいいのではないだろうか。

7. 用例

正しく英語で理解・表現するのに、辞書の用例は貴重な情報源である。用例を書き出させて、帰納的に理解させようとする同僚もいる。PGの用例は「対話」「ジョーク」「日本発」と、学習者の関心を引くように工夫されていて、辞書指導を興味深いものになっている。さて、優れた用例の条件として、「わかりやすさ」もあるが、PGの用例については、少し気になる点が見受けられる。

She expects to have finished this work... (完了不定詞を用いることで複雑になっている, p. 536)

People have a [the] right [↑]to pursue [of pursuing, to the pursuit of] happiness. (見出し語以外に難解な単語が含まれている, p. 1309)

高校生を対象にした学習辞書という性格上、今後のPGの発展に期待を寄せているところである。
(とびた まきひろ・東京都立新宿高等学校教諭)